

QC手法を職場で活用したい方におすすめ！

# 通信教育 品質管理基礎講座

品質管理検定（QC検定） 3級レベル対応

仕事への  
取り組みが  
変わります

職場の問題と課題を的確にとらえ、解決する能力が、  
6カ月でしっかり身につきます

2026年度 第1回：2026年7月～12月（第112回）

第2回：2027年1月～6月（第113回）

主催 一般財団法人 日本科学技術連盟

<https://www.juse.or.jp/>

後援 一般社団法人 日本品質管理学会

<https://jsqc.org/>

通信教育

# 品質管理基礎講座

職場の改善活動や問題解決に必要な  
論理的な考え方とものの見方、  
QC手法が身につきます。

●わかりやすいテキストと経験豊富な講師のていねいな添削指導により、初めて品質管理を学ぶ方でも、6ヵ月間で品質管理の基礎的な知識を習得することができます。

●職場の管理・改善のやり方や必要な手法の使い方を課題を解くことで学ぶことができ、職場での実践にすぐ役立ちます。

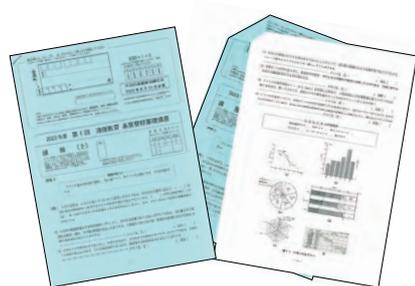
●自由な時間に自宅や職場で、効率的に勉強できます。  
決まった日程で研修を受けられない多忙な方、遠方の方にもおすすめします。

●ライブ配信によるスクーリングでは、経験豊富な講師から学習のポイントなどを学び、テキストによる学習の理解がより深まります。

●職場の改善活動に最適な講座として、これまでに約16万人の方が修了されています。

●QC検定3級レベル対応※の内容で、受検をめざす方にも最適です。

※QC検定レベル対応とは…受講（修了）することで結果として、QC検定の当該級のレベルに対応した品質管理の知識を得られるというものです。ただし、受検対策講座とは異なるため、講座の目的に応じて検定の範囲内でも補足資料での説明に留める等の場合があるほか、検定の範囲を超える内容を含むこともあります。



## 受講対象

- ・製造業、サービス業などの第一線職場の方
- ・QCサークルなどの小集団活動のリーダー、メンバーの方
- ・生産・購買・検査など直接部門、事務・販売・サービス・営業などの間接部門の方

## 受講料

**44,000円** \*税込

【団体割引について】

1企業（事業所）、組織で50名以上お申込みの場合は団体割引が適用されます。詳細はお問い合わせください。

## ●キャンセルの取扱いとお願い

お申込み後から受講開始までの間に受講者の都合が悪くなった場合は、原則として代理の方の受講をお願いします。やむを得ず、お客様の都合でキャンセルされる場合はメールまたはお電話でご連絡をお願いします。なお、その際にはキャンセル料を申し受けます。

## 【キャンセル料】

1回目教材発送後以降のキャンセル：受講料の100%

# 学習の内容

問題解決の手順に沿ったテキストでしっかり学び、毎月1回の課題を解くことで、学習成果を確認できます。提出された課題に対し「指導表」を使い、添削講師によるマンツーマンの指導を行います。

※テキストの内容や構成を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

		テキスト	
		管理・実施編 [主な内容]	手法編 [主な内容]
上巻	[第1講] 品質管理	・品質とは ・管理とは ・品質管理とは	[第1講] データと データのとり方 ・QC手法の役割と勉強のしかた ・データのとり方とまとめ方 ・分布の中心の位置とばらつきの大さのあらわし方 ・母集団とサンプルとデータの関係 他
	[第2講] 職場の改善 —問題解決の 進め方—	・職場の改善（問題解決）を進めるための基本 ・問題解決の手順 他	[第2講] テーマの選定、 活動計画の作成に 役立つ手法 ・グラフ ・パレート図 ・新QC七つ道具 ・親和図法 ・マトリックス図法
	[第3講] 職場の管理	・職場の管理における基本的な考え方 ・製造職場の管理 ・事務・営業部門の職場の管理 他	[第3講] 現状把握と目標設定 に役立つ手法（1） ・層別 ・ヒストグラム ・分布における確率と工程能力
下巻	[第4講] QCサークル 活動	・QCサークル活動とは ・QCサークル活動の導入 ・QCサークル活動の進め方 ・QCサークル活動における各階層の役割 他	[第4講] 現状把握と目標設定 に役立つ手法（2） ・管理図とは ・解析用管理図の作り方 ・管理図の見方と基準の意味 ・管理図の使い方の要点 他
	[第5講] 品質保証	・品質保証とは ・検査による品質保証 ・工程解析・工程管理による品質保証 ・商品企画設計段階からの品質保証 他	[第5講] 要因の解析、対策の 検討と実施、効果の 確認に役立つ手法 ・特性要因図 ・連関図法 ・散布図 ・系統図法 ・検定と推定 他
	[第6講] 品質管理の進め方、 これまでの経緯と ISO9000ファミリー	・品質管理の進め方 ・日本の品質管理の歴史と特徴 ・ISO9000ファミリーの品質マネジメントシステム ・ISO9001規格と「職場の管理」 他	[第6講] 標準化と管理の定着 に役立つ手法と 問題解決事例 ・点検確認用チェックシート ・管理用管理図 ・問題解決事例

## ライブ配信 スクーリング “全受講者が参加できます”

本講座で初めて品質管理を学ぶ方にも学習の成果をより顕著なものにさせていただくため、全受講者を対象にスクーリングを開催しています。スクーリングでは、経験豊富な講師から直接本講座のテキストの内容を学ぶことができます。前期はテキストの第1講～第3講、後期は第4講～第6講を取り上げます。

テキストで述べている品質管理手法のポイントやその効果的な使い方を事例を用いて指導する他、QC検定3級の出題傾向をふまえたポイントをレクチャーいたします。開催日にご参加いただけない場合は、録画視聴（期間限定）が可能です。

### ●日程

【2026年度第1回】前期：2026年9月、後期：2026年12月

【2026年度第2回】前期：2027年3月、後期：2027年6月 予定

※前期、後期それぞれ1日間で計2日間です。

※詳細の開催日程は、日科技連ホームページ、機関紙「Q-PET」にてご案内いたします。

### ●スクーリング参加方法

本講座お申込み後、連絡担当者へお送りする開催通知にてご案内いたします。また、機関紙「Q-PET」No.1へも掲載いたします。

【ライブ配信】とは

- ・講義等を個人PC向けに配信する形式で開催するセミナーです。
- ・ライブ配信のビデオ会議（遠隔会議）システムは「Zoom」を使用します。



### ●社内スクーリング

1企業（事業所）・組織で20名以上の受講者がおり、スクーリングを会社単位でご希望の場合は、講師の派遣、運営などご相談に応じます。ご希望の方は本講座事務局までお気軽にお問い合わせください（別途費用がかかります）。

# 受講の流れ

## 1 お申し込み

1

E-Mail



FAX



受講申込書に必要事項をご記入のうえ  
メール（添付ファイルにして）またはFAXで  
お申し込みください。

申込書はホームページからダウンロードができます。

【セミナーサイト】 <https://www.juse.or.jp/src/seminar/>  
【カテゴリ】 通信教育・eラーニング

第1回 5月末締切

第2回 11月末締切

## 2 開催通知、 請求書の発送

2



開講月の1ヵ月半前から開催通知、  
請求書を発送いたします。

第1回 5月中旬頃から

第2回 11月中旬頃から

※受講料は、請求書発行日から「2ヵ月以内」に請求書に記載の金融機関へお振込みください。

## 3 教材の到着（予定）

3



	第1回	第2回	送付内容
1回目	6/中旬	12/中旬	受講ガイド、テキスト各上巻、課題（1）、調査票、質問票等
2回目	7/末日	1/末日	テキスト各下巻、課題（2）、課題（1）基準解答、機関紙“Q-pet”等
3回目	8/末日	2/末日	課題（3）、課題（2）基準解答、機関紙“Q-pet”等
4回目	9/末日	3/末日	課題（4）、課題（3）基準解答、機関紙“Q-pet”等
5回目	10/末日	4/末日	課題（5）、課題（4）基準解答、機関紙“Q-pet”等
6回目	11/末日	5/末日	課題（6）、課題（5）基準解答、機関紙“Q-pet”等
7回目	12/末日	6/末日	課題（6）基準解答

※課題（6）はテキスト第1講～第6講からの総合的な問題となります。

## 4 課題の提出

4



テキストで学習をしながら、毎月、課題を解いて提出します（計6回）。

課題は「各回の課題到着の翌月21日必着」で本講座事務局へ提出します。

※課題はテキストの内容を確認しながら解答していただけます。

## 5 添削指導された 課題の返送

5



提出期限から約2～3週間後、  
講師から添削された課題と指導表が返送されます。

課題には答案の誤り、注意事項等が記入され、指導表には採点結果とともに学習の  
ポイントが理解できるよう総評コメントが記入されます。

## 6 スクーリングへ 参加

6



受講期間中に2回開催されるスクーリングへ参加し、テキスト学習での  
疑問点を解消し、理解を深めます。

※詳細は前頁をご参照ください。

## 7 修了合格証書 の交付

7



学習全課程を通じて、修了基準に達した方  
には修了合格証書が発行されます。

第1回 2027年2月中旬頃

第2回 2027年8月中旬頃

### 修了の基準

(1) 課題（1）～（5）のうち4回以上の提出

(2) 課題（1）～（5）の平均点が60点以上（提出分の合計得点÷5）

(3) 課題（6）（総合問題）が60点以上

※ 課題（1）～（5）までの課題の成績がどんなに良くても課題（6）（総合問題）を提出しない場合には  
修了合格証書の交付はできません。

※ スクーリングの出席は修了基準に含まれません。

お問合せ先

一般財団法人 日本科学技術連盟 通信教育 品質管理基礎講座事務局  
TEL : 03-5378-1221 FAX : 03-5378-9842 E-mail : qctsukyo@juse.or.jp

\*受講回数を必ずご記入ください。

# 2026年度 第 回\* 【通信教育 品質管理基礎講座】 受講申込書

申込締切：第1回 2026年5月末 / 第2回 2026年11月末

## ■ 連絡担当者欄 (お申込み取りまとめ責任者の方)

会社名			
所属部課・役職名		電話	
ふりがな 担当者名	E-mail		
所在地	〒		
受講料	44,000円 (税込) × <input type="text"/> 名 = <input type="text"/> 円		

## ■ 教材送付方法 (該当する方にチェック印をつけてください)

受講者直送

「受講者名簿」に必要事項をご記入ください。「教材一括送付先」へのご記入は不要です。

一括送付

「教材一括送付先」にご記入ください。「受講者名簿」には“郵便番号”と“教材送付先住所”の欄以外の必要事項をご記入ください。一社で複数箇所(事業所ごとなど)の一括送付先がある場合は、一括送付先ごとにこの受講申込書をご記入ください。本紙をコピーしてご使用ください。

**【教材一括送付先】** 連絡担当者 (申込み取りまとめ責任者) と同一の場合もご記入ください。

会社名		電話	
所属部課・役職名		ふりがな 担当者名	
所在地	〒		

**【受講者名簿】** 7名以上の場合は本紙をコピーしてご利用いただくか、ホームページに掲載しているExcelのフォームをご利用ください。

※	ふりがな 受講者名	工場・所属・役職名 (自宅送付の際は記入不要)	郵便番号	教材送付先住所
				(勤務先) (自宅)

※欄は空欄のままでお送りください。

枚目 / 全  枚

✓印をつけてください

講座を知ったきっかけ

日科技連のDM

日科技連のメールニュース

QCサークル関係のイベント

日科技連WEBサイト

その他 [(具体的に)]

## お申し込み・お問合せ先

一般財団法人 日本科学技術連盟 通信教育 品質管理基礎講座係

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1 TEL: 03-5378-1221 FAX: 03-5378-9842 E-mail: qctasukyo@juse.or.jp